



問題発見力

海外研修

学部横断型特別プログラム

Global Citizenship Program

語学力

問題解決力

進路

グローバル・シティズンシップ・プログラム
2027年度入学者用案内

プログラム
受講料無料

海外研修
奨学金給付



GCPの実績

世界に羽ばたくGCP生

徹底的にアカデミック英語の訓練を積める場がGCPです。在学中の交換留学、卒業後の海外大学院出願に必要なTOEFL iBT®やIELTSスコアを達成することが可能なカリキュラムになっています。プログラム修了生のTOEIC®L&Rスコアの平均点は900点に達しています。また、試験のスコアアップだけでなく、どの学問領域でも役立つ、高度で実践的な英語力を磨ける点もGCP英語プログラムの大きな特徴です。留学先で必要とされる英語の読解力、ディスカッション力、英語でリサーチペーパーを作成し発表する力を日本で留学前に身につけるため、留学先の大学で語学学校に通う必要がなく、到着後すぐに現地の学生と一緒に専門科目を学ぶことが可能です。

また、GCPで培った語学力、リサーチスキル、海外フィールドワークの経験、国際貢献への熱意などを評価され、多くのGCP生が給付型奨学金を獲得しています。約8割のGCP生が長期留学を経験し、世界各地で行われる国際機関のユースフォーラムやハーバード大学の学生会議などにも積極的に参加しています。

留学経験の有無にかかわらず、GCP生は就職先で語学力を高く評価され、業務で日常的に英語を使用する部署に配属されたり、勤務先の海外派遣制度等を利用して留学したりなど国際的に活躍しています。また、多くのGCP生が国内外の大学院に進学し、英語で執筆した論文を国際学会で発表するなど、英語をツールとして使いこなしています。

GCP生の主な留学先

ヨーロッパ
イギリス、フランス、ドイツ、スペイン、ロシア、オーストリア、デンマーク、チェコ、ブルガリア、リトアニア、ポーランド、ベルギー、トルコ、ノルウェー、アイルランド

北米・中南米
アメリカ、カナダ、ブラジル、ペルー、ボリビア

アジア・オセアニア
中国、香港、マカオ、台湾、韓国、フィリピン、タイ、シンガポール、インドネシア、マレーシア、インド、ブルネイ、ベトナム、ネパール、オーストラリア

アフリカ
南アフリカ、ケニア、ザンビア

夢を形に！ 社会で光る卒業生

GCPの成果は、卒業生の進路の多様性とレベルの高さにも表れています。多くの卒業生が海外・国内の難関大学院進学、業界トップレベルの企業就職、外務省専門職や国家公務員総合職などの難関公務員試験、司法試験、公認会計士試験合格等を果たし、GCPで得た力を活かしてそれぞれの進路先で活躍しています。

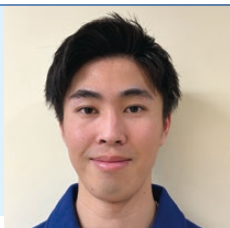
卒業後、アメリカの大学院で医学博士号を取得し、ハーバード大学のメディカルスクールで勤務後、現在デューク大学医学部で博士研究員として働く卒業生は、GCPで身につけた英語力、プレゼンテーションスキル、研究者としての心構えが大学院で高く評価され、現在の進路を勝ち取れたとコメントしていました。

またGCPでは、年2回の総会のほか、キャリアワークショップや懇談会など、卒業生との交流の場を豊富に用意し、教職員と卒業生が一体となって、皆さんの夢を形にしていけるサポートをしています。

GCP生の主な就職先・進学先

- 一般企業**
日本IBM、三井物産、アクセンチュア、ベトナム三菱商事、アマゾンジャパン、ゴールドマン・サックス証券、三菱電機、パナソニック、ソニー、日立製作所、ヤマハ発動機、味の素、ファイザー、アストラゼネカ、NTTデータ、ユニ・チャーム、デンソー、ジョンソン・エンド・ジョンソン、PwC Japan有限責任監査法人、デロイトトーマツ、出光興産、ソフトバンク、関電工、ウォルト・ディズニー・ジャパン、日本ビューレット・パッカード、ファーストリテイリング、ポケモン、リクルート、アサヒ飲料、KPMGコンサルティング、日本マイクロソフト、P&Gジャパン、ロッテ 等
- 海外大学院**
ジョンズ・ホプキンス大学、タフツ大学、ケンブリッジ大学、オックスフォード大学、コロンビア大学、シドニー大学、LSE、パリ第1大学、エセックス大学、サセックス大学、マギル大学、オスロ大学、コペンハーゲン大学、南カリフォルニア大学 等
- 国内大学院**
東京大学、京都大学、一橋大学、東京科学大学、大阪大学、神戸大学、沖縄科学技術大学院大学、北海道大学、広島大学、同志社大学 等
- 難関試験・公務員・その他**
公務員（外務省、厚生労働省、法務省、農林水産省、防衛省、総務省、世田谷区、横浜市、大阪府 等）
教員（東京都、熊本県、鳥取県、海外日本人学校 等）
- 研究職**（ハーバード大学、デューク大学、UCLA、サンノゼ州立大学、東京大学、広島大学、岡山大学、滋賀大学 等）
- 弁護士
公認会計士**
- 国際機関・国際協力・その他**
国際通貨基金（IMF）、国際協力機構（JICA）、JICA総方貞子平和開発研究所、日本赤十字社、国連大学、NPO法人カタリバ 等

在学生・卒業生メッセージ



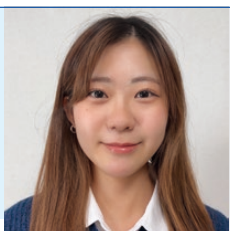
新たな自分に出会い、世界で輝け!

在学生

はら まさゆき
原 正之

経済学部在学 大阪府出身 関西創価高等学校卒業

私は小学生の頃から将来は世界を舞台に活躍したいと考えており、「全ての人が自身の中に秘める無限の可能性を自覚し発揮していくことができる世界」の実現に貢献したいとの思いでGCPを志しました。入学後は全国から集ったレベルの高い仲間に出会って必死に英語の勉強に取り組み、実力を大きく伸ばすことができました。また、世界の諸課題について英語でディスカッションをしたり、学部の違いによる多様な意見に触れる中で、自身の考え方・思考力を大きく広げ、鍛えることができました。また、日々の勉強を通して、「自分自身が人生を通して本当に成し遂げたいことは何か」という思索を深めることもできました。GCPは、志を世界に向けて誰よりも努力できる集団です。日々の粘り強い挑戦を通して世界市民としての人格を磨き、一生の友情を築くことができる場所です。そして、自分の知らない新たな自分に出会うことができるのが、創価大学・GCPです。そんな熱い心で世界に挑むGCPで、皆さんと一緒に学べる日を心待ちにしています。



英語力と人格を兼ね備えた世界市民へ!

在学生

かわしま
川島 めぐみ

文学部在学 神奈川県出身 創価高等学校卒業

私がGCPに入った理由は、創価教育を体現する教育者になるために、まず自分自身が世界市民として成長したいと思ったからです。入学当初は英語が苦手で、授業についていけないか不安でしたが、先生や先輩方の手厚いサポートのおかげで、飛躍的に英語力を伸ばすことができました。今は英語に対する苦手意識も無くなり、英語で新しいことを学ぶ楽しさを感じています。そして、GCPは英語だけでなく、論理的思考力やリーダーシップなどのスキルも鍛えられるプログラムです。私はこの1年間で、自分の目指す教育者の姿、世界市民像へと成長している実感を持つことができました。それは、世界の問題に目を向け、自分事として考えられる人格も磨くことができたからだと思います。また、GCPで学部を越えて学びへの意欲を高め合える繋がりを得られたことも大きいです。GCPは大学で勉強に全力で取り組みたい、世界市民として英語力も人格も磨きたいと思っている方には最適なプログラムです。仲間と切磋琢磨し合いながら勉強できる最高の環境で、一緒に世界市民へと成長していきましょう!



実践的な英語力が身につく!

卒業生

いのうえ まさと
井上 真人

理工学部(2022年卒業) 神奈川県出身 横須賀高等学校卒業
東京科学大学理学院物理学系博士課程2年

GCPでは、自身の考えを筋道立てて日本語・英語の両方で説明する力をつけることができます。私自身、大学入学時には英語を話すことができませんでしたが、現在では英語で研究発表を行えるまでになりました。また、プログラムゼミでは、仲間と議論を繰り返しながら1つのテーマに向き合ったことで、論理的思考力を養うことができました。

現在は、東京科学大学大学院博士課程に在籍し、素粒子物理学の理論的な研究に取り組んでいます。そのなかで、GCPで培った力が多くの場面で活かされています。たとえば、研究発表の場では、論理的かつ専門外の人にも伝わるように説明することが求められます。また、国際的な場であれば、英語で説明する必要があります。私がこのような場で研究発表ができるようになったのは、GCPで培った論理的に英語で説明する力によるものです。さらに、GCPでの学修を通してできた志の高い仲間と切磋琢磨した経験は、私にとって大きな財産です。将来的に研究活動を行いたいと考えている受験生の皆様、そうでなくとも国際的に活躍したいと考えている受験生の皆様、さらには学生生活で何かをやり遂げたいと考えている受験生の皆様、是非GCPに挑戦してみてください!

GCPの学び

ビジネスや研究の場で活躍できるレベルの英語力を培う！

GCP副ディレクター

てっこ
ダン 哲子

GCPでは独自の集中英語講座で海外大学院留学レベルの英語力と、国内外のグローバル企業や国際機関に就職する際に求められる高度な英語コミュニケーション能力の修得を目指します。単に英語試験のスコアを伸ばすのではなく、国内外の社会問題や地球規模的な問題を英語で、探究的に学習し、将来どの領域に進んでも役に立つ英語力+思考力を磨きます。

徹底した4技能の特訓に加え、問題発見+解決+発信で総合的に英語を学べるので、英語圏で専門科目を学べるレベルに、日本にしながら到達することが可能です。国際経験豊かな教授陣によるカウンセリングと効果的な授業外学習指導により、さまざまなニーズに対応しています。英語を日本で仕上げ、非英語圏へ留学し、多言語習得を目指すことも可能です。



グローバル社会で役立つ実践的な問題解決力や提案力を磨く！

GCP副ディレクター

はが ふみこ
羽賀 文湖

プログラムゼミでは、地球的問題群の解決に貢献すべく、リーダーシップ、リサーチスキル、問題発見力、問題解決・提案力を養います。第1に、グローバルリーダーになるための自立的な学習習慣を身につけます。リーダーシップに関する知識およびビジョン、キャリアデザイン、コミュニケーションの基礎を体験的に学びます。第2に、グループワークを通してリサーチの基本的な手法を身につけます。問題発見・資料収集・データ分析の仕方、リサーチペーパーの書き方、プレゼンテーションの仕方、他者との協働を学びます。第3に、現実の社会・政策課題を対象として、修得したリサーチスキルを学際的かつ多角的な視点から発展的に応用します。具体的には、「気候変動関連政策分析のための科学的知見」として、CO₂排出量データに基づいた対策手法の考察および施策の優先順位付け、エネルギーの基礎知識と各種発電メカニズムの利点・欠点およびエネルギーと温暖化の関連を研究します。また、「ローカル(地方自治体)レベルの環境政策」にも目を向け、再生可能エネルギーの実践例を研究します。さらに、「社会課題に対する数理・統計的アプローチ」の仕方を身につけます。人工知能(AI)、機械学習、ディープラーニングの基礎、社会課題解決へのAI適用などの分析手法を、統計ソフトを用いて修得します。第4に、集大成として、公開型の成果報告会にてプレゼンテーションを行います。地球環境・資源エネルギー問題、貧困・食糧問題、民族紛争やテロなどの地球的諸問題に対する解決策を提案することに挑戦します。

プログラムゼミでは、上記の多段階ステップにより、アカデミックスキルを応用し、社会・政策課題の探求を深化させ、グローバル社会で役立つ実践的な問題解決力や提案力を磨く授業を展開しています。



1年春学期 プログラムゼミⅠ Career&Leadership

グローバルリーダーとしての資質を磨く
地球市民として目指すキャリアビジョンを形成し、リーダーシップについて考察

1年秋学期 プログラムゼミⅡ Basic Research

開発途上国が直面している社会課題を探究する
海外フィールドワークに向け、研究テーマを設定し文献調査、研究発表を実施

2年春学期 プログラムゼミⅢ Policy Studies

社会課題の解決に取り組むための素養を培う
気候変動、環境問題、廃棄物処理、エネルギー問題等の社会課題を総合的に把握し、分析

2年秋学期 プログラムゼミⅣ Global Issues

問題解決力、提案力を養成する
自ら社会課題に関する問いを立て、その解決策を社会に対して提案



樹木墓葬についてプレゼンするGCP生

GCP海外研修 返済不要の給付奨学金により、全員が海外研修に参加！

GCPでは渡航費・受講料・宿泊費を全額支給し、プログラムゼミの授業と連動した約2週間の海外研修を実施します。開発途上国の問題解決をテーマとし、1年秋学期のGCPの授業で入念に重ねた文献調査と議論をもとに、海外フィールドワークでは、現地大学の教授陣の指導のもと、データ分析、ディスカッション、プレゼンテーションを通して実践的なスキルを磨きます。また、フィリピンのカガヤン・デ・オロ市の省庁、企業、医療機関、教育機関、カトリック教会などを視察します。



いぐち ひでお
井口 英夫

教育学部在学
神奈川県出身
関西創価高等
学校卒業

半年間の文献調査を経てフィリピンのカガヤン・デ・オロ市へ赴き、「中小企業の災害レジリエンス」をテーマにリサーチを行いました。インタビューを通し、洪水や地震などの災害時に企業が直面する課題について、現場の声を直接聞くことができました。12日間の研修で経験した全てが私にたくさんの学びと内面的変化をもたらしました。教育学部生として、この研修のような充実した学びはどのようにして起きたのかを紐解き、良い教育を模索したいと思いました。自分という学習者を材料に「学びに夢中になれる教育とは？」との問いにとことん挑みます。



留学・国際会議



かわせ きょうこ
川瀬 杏子

法学部在学
栃木県出身
栃木女子高等学校卒業

ブラジル・アマゾンの熱帯雨林は、大気と雨の源であり、気候を健全に保つため、地球上全ての命にとって守るべき存在です。そんなアマゾンへの破壊が先住民の命と尊厳を奪っている現実を、GCPの授業で知り、解決のために行動したいと考えました。2025年11月、国連気候変動枠組条約締約国会議(COP)がブラジルで開催され、私はNPOの代表派遣事業に合格し、参加しました。COPは、世界各国の首脳・専門家・NGOが集結し、地球規模で気候変動対策の方向性を議論する重要な会議です。現地では世界の若者代表と議論を重ねたり、先住民へインタビューをしたりしました。帰国後は、環境雑誌への寄稿やイベントへの登壇を通じ、先住民の生の声とともに、アマゾンの森林破壊の現状を伝えてきました。GCPでは、実践的な英語力だけでなく、地球規模の課題を自分事として捉える価値観、行動に移す姿勢を学ぶことができます。GCPでの学びがあったからこそ、国境を越えて多くの人々と信頼関係を築き、志を共にして活動できたと感じています。



ブラジル・ベレンで行われたCOP30に参加



かわの よしえ
河野 良枝

法学部在学
東京都出身
創価高等学校卒業

自分の視野を広げるため、留学中は専門外である環境科学やサステナビリティを学び、3時間のセミナー型授業にも挑戦しました。知識がほとんどない中で現地学生と議論することは困難でしたが、GCPで培った忍耐力や英語力を活かし、徐々にチームへ貢献できるようになりました。また、「何事にも挑戦する留学」を目標に、留学希望者を支援するGlobal Learning Ambassadorsの一員として活動し、日本語コーチとしてのボランティアにも取り組みました。さらに、日本文化を伝えたいという思いから、書道イベントを一人で企画・運営し、二回の開催で30人近くの参加者を集めることができました。加えて、ハーバード大学で行われたアジア国際関係プロジェクトにも代表として参加し、各国から集まった有識者や志の高い学生たちと議論を重ねました。世界のレベルの高さを痛感すると同時に、高度な知見や多様な視点、そして世界中に切磋琢磨し合える仲間を得られたことは大きな財産となっています。GCPでのハイレベルな学びがあったからこそ、8か月という限られた期間で多くの挑戦ができた実感しています。今後も国際課題の解決に尽力し、グローバルに活躍できる人材を目指してまいります。



ハーバード大学主催のアジア国際関係プロジェクトに参加

進路



さかき しろひさ
榎 城久

法学部(2024年卒業) 東京都出身 創価高等学校卒業
京都大学・コーネル大学国際連携コース(MBA & Master of Management in Hospitality)

世界で活躍できる力を身につけたいと思いGCPを志望しました。実際に、建学の精神を学ぶ講義や集中的な英語授業、ゼミ形式の研究プロジェクト、卒業生との懇談会などを通じて、人生の基盤を築くことができました。

GCPは「3S(スピリット・スキル・サービス)を高レベルで有する人材」の育成を理念とするプログラムで、成長のチャンスに富んでいます。学友と切磋琢磨し課題を乗り越えていくことで、何のために学ぶのか、自身の夢や目標を実現するために必要なスキルは何か、どのように社会に貢献していきたいかを探究できる最高の環境だったと確信します。

在学中はGCPで身につけた英語力を武器に香港大学へ留学し、異文化理解を深めると同時に、交渉力等のスキル面を強化する必要性を痛感しました。卒業後は京都大学と米国コーネル大学が連携するダブル修士課程に進学し、経営学を専攻。社会人経験者も多く所属する集団で、私がサバイブすることはタフな挑戦でしたが、GCPで鍛えた問題発見力やライティング力、そして仲間の存在が大きな支えとなりました。

学生生活を通して、私は「金融の力で人々の尊厳に直結する雇用を維持・創出する」という使命を見つけました。大学院修了後は証券会社の投資部門にて、アジアにおける未上場企業・不動産への投資業務を担当し、事業再生・成長支援の領域に携わる予定です。将来皆さまと共に、創大世界一に向けた連帯を前進・拡大させていけることを心待ちにしています。



はらだ あやの
原田 彩乃

経済学部(2017年卒業) 茨城県出身 芝浦工業大学柏高等学校卒業

高校時代、進路を考える中で、GCPの存在を知り、創価大学への進学を決意しました。GCPでは、語学力の向上に加え、物事を論理的に考える力や、自分の意見を相手に伝えるプレゼンテーション力など、どんな仕事にも通じる基礎を身につけることができました。スキル面に加え、志の高い仲間と切磋琢磨しながら学べた経験もGCPで得た財産です。同期や先輩、後輩がそれぞれの場所で挑戦を続けている姿を見聞きするたびに、「自分もっと頑張りたい」と奮起することができ、GCPの仲間の存在が今でも自身の挑戦の後押しになっていると感じます。

卒業後は総合電機メーカーで約8年、業務用空調の事業企画や新規事業開発に携わりました。その後、学生時代からの目標だった東南アジアに関わる仕事に挑戦するためタイに拠点を移し、現在はビジネスコンサルタントとしてタイや周辺諸国で事業を展開する日系企業の課題解決を支援しています。クライアントの抱える課題をより深く理解したいとの思いから、仕事と両立しながらチュラロンコン大学のMBA課程で経営学や会計を学んでいます。仕事と学業の両立には、GCPで培ったタスクマネジメント力や挑戦を楽しむ姿勢が大いに役立っています。

振り返ると創価大学GCPは、自分以上に自分の可能性を信じてくれる教授や仲間に出会え、次の一歩を後押ししてくれる場所だったと感じます。GCPでの学びと仲間との出会いが、皆さまの未来を大きく広げてくれることを願っています。



いわき たかこ
岩城 貴子

経済学部(2016年卒業) 大阪府出身 関西創価高等学校卒業
アジア開発銀行勤務

大学一年次、GCPの海外研修でフィリピンを訪れたことが、私の原点です。農村部の小規模農家や現地の人々に直接話を聞き、貧困や経済発展の課題を自分の目で見た経験から、「将来は開発途上国の発展に貢献する仕事がしたい」と強く思うようになりました。大学卒業後は、外資系証券会社に入社し、グローバルな環境で金融商品の取引に従事しました。その後、国際機関への就職を目指して、アメリカの大学院へ進学。大学院ではアジアにおける金融包摂について研究を行い、在学中は女性の金融包摂を支援するNGO、また世界銀行グループでのインターンも行いました。修士号取得後は、国際通貨基金(IMF)にて、融資プログラムのレビューや、中東地域のマクロ経済のモニタリングに従事しました。現在は、アジア開発銀行にてアジア各国の持続可能な開発、とくにグリーン貿易政策や、貿易政策における女性の包摂等に対する各国政府への助言・提言の執筆を行っています。大学時代、GCPのグループ学習で培った論理的思考力、多角的に考える力、また多様な背景を持つ人々と協調する力は、今の仕事の基盤となっています。今後はさらに自身の専門性を伸ばし、世界各国の開発課題の解決に尽力していきたいです。

GCPの理念と目的、5大特徴



GCPディレクター
あさが ひろのぶ
朝賀 広伸 法学部長

創価大学卒業、筑波大学修士、明海大学博士課程修了(博士)。明治大学法科大学院教育補助講師、沖縄大学教授等を経て、現職。専門は環境法。『環境法判例百選』『演習ノート環境法』など著書多数。理論と実務の両面から研究に邁進。

GCPは、創価大学ミッションステートメントで謳われている、智慧、勇気、慈悲の3つの要件を有した地球市民(Global Citizenship)を育成することをプログラムの理念としています。具体的には、世界を志向し、世界の平和と人々の幸福を願う心—スピリット(Spirit/精神性)を持ち、世界が直面する問題の要因を分析し、解決策を提示する能力—スキル(Skill/技術・方法)を身につけ、決して自己の利益にとどまることなく、人々の幸福のために貢献する行動—サービス(Service/奉仕・貢献)ができる地球市民の輩出を目指しています。

そのために本プログラムでは、以下の5つの取り組みを通して、世界を舞台に活躍したい皆さんをサポートします。グローバル企業、国際機関、世界トップレベルの大学院、国家公務員などを目指す強い志を持つ学生を全力で応援します。

① 学部に所属したまま参加できる学部横断型特別プログラム

GCPは5学部(経済経営・法・文・教育・理工学部)の学生を対象に選抜を行います。それぞれの学部に所属したまま、互いに学びに取り組むことで、広い視野と多様性が育まれることを期待しています。

② 徹底した英語教育と奨学金給付(返還不要)による全員参加の海外研修

高いレベルの集中英語講座とあわせ、GCP受講者全員に、海外研修費用として返還不要の奨学金が給付され、全員が海外短期研修に参加します。GCPの海外研修では、研修先の政治・経済・環境・教育に関する講義を英語で受け、現状と課題について理解を深めていきます。

③ 社会システムを読み解く力—数理能力をトレーニング

国際社会で活躍するためには、膨大かつ多種多様なデータを効率的に活用し、スピーディーに分析する能力が不可欠です。「社会システム・ソリューションI・II」では、社会の現状と問題を把握し、解決方法の考察と意思決定を行うために必要なデータ分析能力を修得します。

④ 独自ゼミでグローバルに活躍する人材を育成

セメスターごとにそれぞれ独自のゼミが設けられ、2年間で段階的に、リーダーシップ力、問題発見力、問題解決力を高めていきます。

⑤ 少人数制によるきめ細かい指導と「建学の精神」の深化

教員1人あたり学生が10名以下の少人数体制を組んで、週に一度のチュートリアル授業や学生一人ひとりの学問分野や進路に合わせて、きめ細かい個別相談・指導等を通して、学生生活を全力でサポートしていきます。

入学から卒業まで

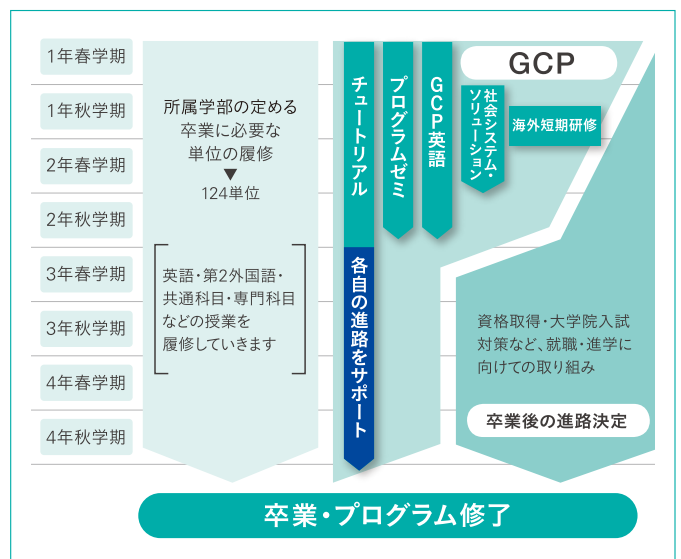
GCPでは、学生の所属する学部でそれぞれ定める卒業に必要な単位を修得しながら、並行して本プログラムの科目を履修します。プログラム修了に必要な単位(32単位)をすべて修得すると、卒業時に所属学部の学士に加えて、GCP修了が認定されます。

※卒業要件(履修科目、単位数)は学部により異なります。

※所属学部の定める卒業要件では、所定の単位の修得のほか、通算GPA(全科目の評定平均)が2.0以上である必要があります。

※GCP科目は、共通科目の授業として開講されます。したがって、GCPで修得した単位は、各学部で定める卒業要件の「言語科目(英語)」、「共通科目」、または「自由選択科目」の単位として含まれます。

※一部のGCP科目については、GCP以外の所定の科目を修得することにより、GCPの修了に必要な単位として認定することができます。



GCP選抜要項

変更の可能性がありますので、必ずGCPホームページの募集要項もご確認ください。

GCPの受講には、入試合格後に出席が必要で、また、GCPの選抜試験は入学前に行われます。入学後にエントリーすることはできません。

出願・募集について

- **対象学部**：経済経営・法・文・教育・理工学部（国際教養学部、看護学部は別カリキュラムのため応募できません。）
- **対象入試**：PASCAL入試、グローバル人材育成入試（グローバル特色型）、基礎学力方式、女子特別選抜入試、指定校推薦入試、小論文方式、国際バカロレア入試、帰国学生入試、創価学園推薦入試、大学入学共通テスト利用入試、全学統一入試、一般入試、大学入学共通テスト利用入試（後期）、一般入試（後期）（2026年3月時点）
- **募集期間**：入試ごとに異なります。以下の「選抜の流れ」ならびに「GCP募集要項」をご確認ください。
- **募集人員**：30人（合格者が募集人員に満たない場合でも、追加募集は行いません。）
- **受講費用**：無料（英語学習の一環として、TOEFL®テスト等の外部試験を自己負担で受験する場合があります。）

※出願資格について不明な点がある場合は、事前にGCP事務室にお問い合わせください。

選抜の流れ

GCPでは出願者に対して選抜を実施します。選抜は以下の2段階で行います。

- ① **第1次選抜**：エントリーシート、入学試験の成績、入試出願時に提出された調査書に基づき、書類審査を行います。
入試合格者向けに開設される「入学支援システム」より、エントリーシート等の必要書類をオンラインで所定の期日までにご提出ください。提出締め切り日は入試ごとに異なります。募集要項でご自身の入試の締め切り日をご確認ください。エントリーシートは提出フォームの下書き段階で一時保存できますが、締め切り日までに必ずご提出ください。
第1次選抜の結果は、入学前に、「入学支援システム」で通知します。第1次選抜合格者には、第2次選抜のスケジュール等も併せて通知します。
- ② **第2次選抜**：3月下旬ごろに小論文試験・面接試験・英語試験を行います。さらに入学前後に全新入生に対して実施されるプレイスメントテストの結果を含めた総合評価により受講者を決定し、4月上旬ごろに可否を通知します。

GCP募集要項

<https://www.soka.ac.jp/seed/gcp/admission/>



Q & A

① GCP生はどのような課外活動に取り組んでいますか？

GCP生はクラブ活動や学生自治会、大学行事の実行委員会等に参加することはできませんが、GCPで身につけた英語力や論理的思考力、問題解決力を活かし、学外の国際学生会議、外務省が主催する海外インターンシップ、内閣府主催の青年国際交流事業、国連協会主催ユースフォーラムなどに日本代表として参加しています。

学内においては、ASPIRE創価（国連アカデミックインパクトの学生団体）の中心メンバーとしてSDGs達成を推進するイベントや難民支援映画祭などを企画し運営しています。そのほか、国際寮での留学生のサポートスタッフ、グローバルな就職活動を支援するスタッフ、GCPで培った経験やスキルを活かせる課外活動に、積極的に取り組んでいます。

② 選抜試験に向けた準備について

小論文試験では、社会課題などのテーマとそれに関する資料が与えられ、所定の時間内に自分の考えを明確かつ論理的に述べる事が求められます。英語試験の中ではライティング試験が課されます。大学入試英語エッセイ問題、英検®1級ライティング問題、TOEFL®テストライティングセクションの出題形式を参考にしながら、英語パラグラフの構成を把握しておきましょう。面接試験ではGCPの志望動機、学修計画、これまでの経験と、ある1つの社会課題に関して意見が求められます。GCPの目指す人材像を把握し、自分の学びたい内容、キャリア計画をよく検討するとともに、国内外の諸問題について常に情報を収集し、周囲の人たちとの議論を通して、自分の意見を持つようにしましょう。

発行日：2026年4月17日

GCP事務室（総合学習支援オフィス学習支援課内）

ホームページ：<https://www.soka.ac.jp/gcp/> TEL:042-691-7009 FAX:042-691-6941 メールアドレス:sgcp@soka.ac.jp

お問い合わせ時間：月～金曜日 9:00～17:00 / 土曜日 9:00～12:00